

柏原市立歴史資料館

大阪府柏原市高井田1598-1

電話：072-976-3430

9:30～17:00（入館は16:30まで）

入館無料・月曜休館（祝日は開館）

JR大和路線 高井田駅から徒歩約5分

近鉄大阪線 河内国分駅から徒歩約15分



鉢伏山西峰古墳

春季企画展

安宿郡の 古墳と寺院

あすかべぐん

7・8世紀の近つ飛鳥



切戸1号墳出土馬具



河内国分寺瓦

2019 3 | 30 | 土 ▶ 6 | 16 | 日

館長と学ぶ大和川講座

3月23日（土）

「新川筋村々の苦悩」

5月25日（土）

「旧大和川筋の新田開発」

6月22日（土）

「旧大和川筋のかんがい」

13:30～15:00

定員70名

無料 / 申込不要

文化財講演会

4月27日（土）

13:30～15:00

安村俊史（当館館長）

「安宿郡の古墳と寺院」

定員70名

無料 / 申込不要

史跡 高井田横穴特別公開

5月18日（土）

10:00～15:00

学芸員によるガイドツアー

10:00、11:00、13:00、14:00

定員各回20名

史跡 高井田横穴公園内で受付

無料 / 申込不要

安宿郡の古墳と寺院

— 7・8世紀の近つ飛鳥 —

柏原市南部と羽曳野市南東部は、奈良時代（8世紀）には安宿郡あすかべのこおり（ぐん）と呼ばれ、飛鳥時代（7世紀）には飛鳥戸評あすかべのこおりでした。安宿郡には、7・8世紀の古墳や寺院が多数あり、飛鳥戸氏あすかべや田辺史氏たなべのふひとなど渡来系氏族の多い地域でした。そして、彼ら渡来系氏族を中心に華やかな文化が開き、日本古代史に重要な位置を占める地域でもありました。

大和川に沿った龍田道と、竹内街道から穴虫越えの大坂道は、古代で最も重要な2本の道でした。竹内街道というと竹内峠越えの道を考えますが、古代においてはもっぱら大坂道が利用されました。天武天皇のときに関が置かれたのも龍田道と大坂道でした。この重要な2本の道のあいだに設定されたのが、安宿郡なのです。

みなさんは、「近つ飛鳥」と聞いてどこの地域を連想されるでしょうか。御陵の集まる太子町の風景でしょうか。それとも大阪府立近つ飛鳥博物館や一須賀古墳群でしょうか。『古事記』では、河内から大和へ至る大坂道の入口を、「近つ飛鳥」と呼んでいます。今の羽曳野市飛鳥周辺です。この飛鳥を含む一帯を飛鳥戸評とし、これが奈良時代に安宿郡となったのです。つまり、「近つ飛鳥」とは、狭い名称としては羽曳野市飛鳥周辺、広い名称としては安宿郡のことだと考えるべきでしょう。

古墳と寺院を中心に、安宿郡の7・8世紀を紹介します。これらの資料によって、安宿郡の重要性と繁栄を知ってもらいたいと思います。そして、竹内街道や近つ飛鳥に対するみなさんの誤解を解いてみたいと思います。

— 主な展示資料 —

切戸1号墳（金環、金箔、鉄鏃、雲珠、辻金具、鞍、土師器、須恵器）、切戸2号墳（土師器、須恵器）、鉢伏山西峰古墳（埴、土師器、須恵器） 以上、羽曳野市教育委員会所蔵

田辺古墳群（金環、刀子、土師器、須恵器）、田辺墳墓群（和同開珎、須恵器、埴、平瓦）、田辺遺跡（鞆羽口、鉄滓、軒丸瓦、土師器、須恵器）、玉手山遺跡（須恵器）、円明遺跡（墨書土器）、原山廃寺（軒丸瓦、軒平瓦、埴、凝灰岩）、五十村廃寺（軒丸瓦、軒平瓦、瓦塔）、田辺廃寺（軒丸瓦、軒平瓦、埴、壁土）、片山廃寺（軒丸瓦、軒平瓦、埴）、河内国分寺跡（軒丸瓦、軒平瓦）、河内国分尼寺跡（軒丸瓦）、円明廃寺（軒丸瓦、軒平瓦） 以上、当館所蔵

安宿郡ジオラマ、片山廃寺塔模型、鳥坂寺塔模型、河内国分寺塔模型、田辺廃寺伽藍模型は柏原市市民歴史クラブ製作品であり、田辺廃寺伽藍模型は春日神社所蔵